





# カニの中毒

## 好間村に卅數名

### 平町にも中毒騒ぎ

好間村大字上好間字大畑一  
二〇坑夫煙山政之助(一)は  
六日午後五時半頃行商人よ  
り蟹を買ひ弟未治(二)未吉  
(三)と共に食べた處午後八  
時頃より蟹の中毒症を起し  
て嘔吐と共に頭腹痛を起し  
三名は七轉八倒の苦悶に炭  
礦病院へ擔ぎ込み應急手當  
の結果辛くして生命を取り  
止めたが同行商人は附近一  
帯左記二十九名の家庭にも  
不良カニを賣込んだらしく

(三)高橋ツヤ(五)矢内ト  
メ(三)金田チヨ(五)同清  
治(四)春山仙吉(三)小林  
義太郎(一)同清若(六)小  
村未松(三)小池カネ(三)小  
上村ミサホ(三)厨川キク  
(二)金徳沫(三)梁川キク  
ヨ(七)根本仙吉(三)高橋  
彦吉(四)

### 銀治職の

#### 内郷の中毒

石城郡内郷村高坂銀治職吉  
田源喜(一)は一日午後三時  
頃同村松田八一魚商植田定

### 乃木祭

#### 第二校舉行

平第二小學校は今日九日午後  
零時半より學年主任會を開  
き乃木祭に付施行協議した

### 行商鮮人の

#### 背負た子が

#### 腸チブスと判明

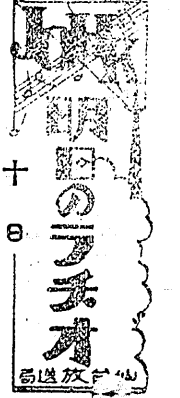
#### 平町役場で早速隔離

昨八日午後四時頃平署人事  
相談所へ朝鮮慶尙南道蔚山  
郡慶養面生れ住所不定筆行  
商松山春吉事李清元(一)が  
長男正男(七)を背負つて正  
男が胃腸を冒され商賣も出  
來ず難澁して居ると救濟方  
願出たので町役場に交渉し  
行路病人として收容した處  
本日九日子供の病氣は腸チブ

### 江名町測溝

#### 本通り百間

江名町本通りの交通量の多  
い場所百間に工費五百圓餘  
を投じて測溝工事を起すこ  
ととなり本日九日關係區長五  
名が平土木監督所に陳情し



今晚北東の風驟  
雨様模明日北西  
の風天氣よし

### 今晚の部

後六〇〇子供の時間  
お話「軍旗を語る」歩兵第  
四聯隊佐々木中尉 仙臺  
市榴ヶ岡小學校児童  
後六二五基礎英語講座  
岡倉由三郎  
後七三〇講演「選舉肅  
正と教育」文部次官三邊  
長治  
後八〇〇俳諧 村田文  
三他  
後八二〇舞臺劇「東海  
道三島の宿」實川延若一  
座  
後九三〇時報 ニュ  
ス 氣象通報 番組豫告

### 飢餓線上の

#### 労働者が雀躍

#### 陰鬱な天候を一掃

#### 當分暑さは續く

氣候不順の結果氣温が低過  
ぎた平地方は六日から清明  
な秋空を展開し始めて次第  
に高温となり昨日は午後  
から華氏八十七八度の酷暑  
の頃と變らぬ記録を示して  
ゐるが本日は午前九時前後  
に華氏八十二度六分を示し  
午後一時二時頃になつて俄  
然九十度前後の高騰を現出

### 各地の土産物を

#### 陳列して一般に

#### 製作上の参考とする

#### 産業資源部の試み

平町市制調査會の産業資源  
部員が過般關西九州各地を  
視察の際蒐集した各地の名  
物土産品等五十餘点は来る  
十三日午後一時より町會議  
事堂に陳列し市内の關係商

明日の部  
前六三〇基礎ドイツ語  
講座 武内大造  
前七〇〇朝の修養 禪  
話十二講「禪の宗風」梶川  
乾堂  
前八〇〇三〇家庭講座  
「屋外作法」嘉悦孝子  
後八〇〇五モダン小咄  
深見泰三他  
後二〇〇婦人の時間  
「貨幣と物價」服部文四郎  
後六〇〇童話朗讀 大  
阪放送電話研究會

### 昨日内郷の

蒔蕪屋火事  
内郷村大字綴字七反田五〇  
コンニヤク製造業小島宇一  
郎(三)方工場の竈より昨八  
日午後三時半發火バラック  
建三坪半の同工場を全焼し  
四時鎮火したが原因は竈の

### 好間十丹賭博

村萩原炭礦坑夫大森捨吉  
(三)同蛭田金一郎(三)赤井  
村福島炭礦坑夫久藤清三郎  
(五)同福井清(三)井上充太  
郎(四)小野寺三郎事全介川  
(三)の六名は去る五日午後  
五時より久藤及び蛭田方で  
十丹賭博の開帳發覺昨八日  
平署に檢舉された

### 醍醐味の教法に

#### 牛乳を接待する

#### 性源寺の巡回布教

大本山巡回布教のため貫首  
代理布教師山内鶴翁師は來  
る十四日午後一時から平町  
長橋町性源寺本堂にて布教  
するが當日は醍醐味の教法  
を表象する意味で牛乳を接  
待する筈

### 平裁判たより

△双葉郡川内村大字下川内  
字坂内菓子商志賀好美(三)  
は去る六月中切斷した稗秤  
の錘糸を結付け同村手塚雪  
江外一名へ菓子販賣の際使  
用した處で度量衡法違反と  
し平區より略式罰金十圓に  
處された



# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史  
(巻) 野口

第二百二十一回

### 浪々の身 (十三)

からだのどこかに血の匂がしてゐた。ウエルズはそれが氣になつてから、しきりに手をぬぐひ顔をぬぐひ、また血の興奮からさめず、野獸のやうに室内を歩き廻つた。

それから……もう一つ、ふしぎに強い幻覺が彼を狂はしいものにした。雪白のうるはしい肌から覗いたあの青刺……毒蛇のほりもの……

ウエルズの血に狂ふた双唇はしきりにその凄艶な刺青を追ふてゐる。

……あのムスメは……ウエルズは幾度か呟いたあのムスメの肌になんといふ美が、藝術がひそんでゐたことか……なんといふ大きな発見だつたらうとおもつた。

そしてあの美しい刺青のあるニッポンムスメを充分に享樂し盡したであらうパークスをウエルズはいま、さらに、ねたましく感じてきた。

……あゝ、ムスメをえればなせ殺したか、おれは何

んといふ……ウエルズはおふくの肌がいよゝ戀しくなつてきたあのまゝむぎ／＼草の上ですてゝ置くのはなんとすても惜しいと思つた。



西洋館を出て行つた。いれずみの幻影を追ひながら……月は明るかつた。延遊館の窓々に灯がともつてゐた。ホテル館の風見の十字形が月にぬれていくらか光つてゐるやうに見えるた。

だん／＼強くウエルズのことろに迫つてきた。彼はもう血の匂を氣にすることはなかつた。血の匂がむしろ幻影の刺青にふしぎな實生活と與へた。

……さうだ。おふくしやんの肌をもう一度……そこでウエルズは憑かれたいものゝやうにふちふらと

のらしやめんの血に染まつたはだを嗅ぎ廻つた。——おふくしやん……が、もう彼の女のうめき苦しむ聲ものたうち廻る草ずれの音も絶えてなかつたたゞ月光がおふくのしどけない姿をやがてウエルズの双眼にみせつけてくれた。おふくの良順はもう息絶へて冷たく草に横たはつてゐた。

——おふく、おふくしやんウエルズは悲しげにしかしまたうれしげに這ひ寄つて死骸を抱きついた。

素晴しい乗心地の!!!  
三十五年式流線型新車が  
参りました

是非御試乗御利用の程を御願申します

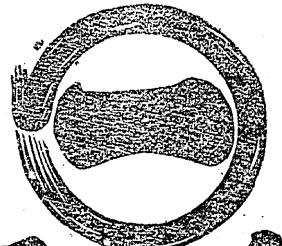


三井タクシー  
電話六八五番

かまぼこ  
製造

お惣菜用  
さつま揚  
吉原場  
平町一丁目  
電話一四一番

名城名産  
美味貝焼  
鯉しほから  
新鯉節大賣出し



魚問屋  
最優最  
大日本  
命代店  
盛栄  
平四丁目  
電話二一三

南原醫院  
平町・田町  
電話一四四番

◎最も理想的な  
相互扶助機◎  
□共存共榮自力更生の大策□  
中小商工業者の一大福音  
石城中小商工互融會生る  
融資御希望の方へは  
□十銭の日掛をなし三十日以上掛金を  
すれば九十圓の御用立を致します  
□僅か十銭の日積で満額拂戻の時には  
五分以上の割戻分配を致します

本會の事業  
一、社會公共事業及慈善事業への奉仕  
二、懇談會併精神修養講話會  
三、會員の吉凶慶弔  
四、人事百般の相談  
五、法律無料相談  
六、診療救恤の補償  
七、納税の代納事務取扱  
八、勤儉蓄積の奨励  
九、小資本の融通  
一〇、會員の特典  
一、會報の發行  
相互扶助機關  
皆さん御利用を願ひます

石城中小商工互融會  
福島縣平町橋小路一番地

吉田眼科病院  
平野屋町電話六八番  
醫學士 吉田久雄